
CCS及びCCUの扱いについて（案）

令和5年9月7日

事務局

第6回検討会での主なご意見（1/2）

【原則論】

- バイオマス燃料も燃焼するとCO₂が排出されるが、（現在は）報告段階では排出量は0であると整理されている。ニュートラルの定義も含めたCO₂排出の概念と報告の概念を提示すべき。

【国際的な整合性】

- 我が国の削減目標や国家インベントリとの関係も踏まえて検討すべき。特に輸入燃料等の炭素や水素の起源も環境貢献の観点から重要であり、いかに考慮するかも論点となる。
- 他制度（国家インベントリ、事業者単位での排出の開示制度等）と完全に整合させるべきか互換性を重視するのか、**SHK制度の趣旨に沿って算定方法を制定すべき。**
- SHK制度は国内に焦点を絞った制度であると認識しているが、CCS・CCUは国家間の関係も密接に関連するため、**国益の観点からもSHK制度を検討すべき。**

【製造・利用促進】

- 今後の議論の中心は燃料利用へのインセンティブの付与方法論の整理であるが、製品として長期固定することもCCU。燃料であれ原料であれ、**製造・利用共にインセンティブを付与していただきたい。**
- **排出者の削減インセンティブを削がないよう制度設計していくことが重要。**回収側・利用側の両方にはインセンティブを付与できない場合、政策全体でインセンティブを与えていただきたい。

第6回検討会での主なご意見（2/2）

【トレーサビリティ】

- **ダブルカウント及びカウント漏れ防止の観点から、トレーサビリティが重要。**今年度の検討でモニタリング等も加味して検討するかは、次世代型のカーボンマネジメント（温室効果ガス排出量削減に向けた取組）を通じた脱炭素技術に対して、国内外で理解を深める意味でも重要なポイント。

【制度のシンプルさ、多様な形態への対応】

- 合成メタン以外の利用方法も含めた**統一的な考え方の必要性・可能性を整理すべき。**
- 全ての整合性を取るのは困難であり、**優先順位を決めざるを得ないのではないか。本制度の目的、排出量算定の意義、算定方法がシンプルであることが重要。**
- メタネーションの燃料を使用して燃焼した際に排出したCO₂を再回収して使用方法や、再回収して利用したCO₂を再度再回収して貯留する方法も検討されている。**CCUにはバリエーションがあることを念頭に、算定方法にバリエーションを持たせることについても議論すべき。**

【情報開示・普及啓発】

- 事業者単体の排出量評価を目的としたSHK制度において、バリューチェーン全体の貢献度評価との整合性を図る場合に、算定方法のみならず、これまでの算定方法と異なる視点も踏まえたデータの開示方法の工夫も必要。**社会に向けた普及啓発と算定方法の整合性や理解を深める検討を行うべき。**

【検討の進め方】

- **時間軸もバリエーションの1つとし、各燃料の開発動向や市場化動向を踏まえて算定方法の検討を行う等のプロセスの柔軟性も考慮すべき。**国際的な整合性を図るステップと脱炭素技術の普及促進を図るステップを同時期に遂行するのか、或いは順次構造化するのか。制度・議論の柔軟性を検討すべき。

CCS及びCCUの議論の進め方

- 今年度は業界等との調整を進め、来年度の検討会において本制度における具体的な算定ルールを議論する予定。
- 前回の検討会でのご意見も踏まえた以下の視点を重視するとともに、**原排出者と利用者の双方に納得感の得られる制度になるよう留意して**検討を進める。

＜検討の視点＞

- 多様なビジネス形態を想定して、排出量を計上する者を一律に原排出者又は利用者のどちらか一方に固定するのではなく、柔軟に対応できる算定ルールにする必要があるのではないか。
- 排出量の回収やカーボンリサイクル製品を適切に評価した上で、その評価をSHK制度に反映させる必要があるのではないか。

＜制度反映に向けたスケジュール（予定）＞ ※必要に応じて議論の前倒しも検討

	2023年度												2024年度												2025年度															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8											
検討会等			第6回検討会		第7回検討会		第8回検討会	第9回検討会 (必要に応じて)					排出コントロール議論 (本件を議題に、1~2回開催することを想定)												2025年度実績を 2026年度に報告する ものから反映予定															
事務局					業界等調整																															政省令・マ ニユアル改正				